

陽明叢書

記録文書篇

第9輯

法制史料集

(全1冊)

〔編集〕公益財団法人 陽明文庫 〔本輯解説〕杉橋隆夫・佐古愛己

▶ 菊判横本・384頁／**定価:本体 12,000円**(税別) ISBN978-4-7842-1716-8 2014年9月刊行

摂関家筆頭である近衛家伝来の文庫襲蔵の記録及び文書中より、中世の未公刊史料を中心に影印(写真版)で刊行するシリーズ。

本輯では、陽明文庫に架蔵された中世法制史料の優品を収録し、各書の書誌および史料的位置などに関する詳細な解説を付す。

【収録 法書・法令集】

■法曹至要抄(三巻) 〈重要文化財〉

明法博士坂上明基(祖父の明兼とする説もある)の撰。全173条。鎌倉時代の書写にかかる陽明文庫本は、上・中・下三巻を備える最善本といえる。坂上氏の家学の集大成にして、中世公家法に関するもっとも広汎・体系的な法書である。律令格式の引用と案文との間の著しい乖離は、むしろ現実に対応する「生きた法」との近接を示唆している。

■裁判至要抄(一巻) 〈重要文化財〉

坂上明基撰。33箇条。弘長三年(1263)の最古写本で、内容的にも最善本である。中世公家法研究上、『法曹至要抄』と並ぶ最重要史料であるだけでなく、鎌倉幕府法にも本書を参照した形跡がある。総じて社会の現実を意識した法といえる。

■文永十年九月制符

文永十年(1273)十一月、東大寺権僧正宗性の編書写。「三代制符」中、虫害が比較的軽く、かつ本文の執筆者(宗顕)も明らかで、制符の成立と筆録に期間がもっとも短い。

■追加

鎌倉幕府の追加法令集。追加法令集中もっとも多い実質388箇条を収める。諸追加法令集の成立・系統を考えるうえで、貴重な存在。多数の訴訟法規を収載している点でも注目される。

■式目追加条々

鎌倉幕府の追加法令集。219箇条。ただし末尾11箇条は足利幕府の追加法令。なかでも弘長元年(1261)二月二十日関東新制条々61箇条は、他に見られない貴重な条文である。

■倭朝論鈔(一冊)

天文五年(1536)二月に清原宣賢が行った講釈の内容を受講者が筆録、天文十年(1541)春に成書したもの。『清原宣賢式目抄』の記述・趣旨と微妙に異なる箇所も少なくない。両書の比較研究に新たな途を拓く。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	陽明叢書 記録文書篇 第9輯 法制史料集		本体12,000円(税別) ISBN978-4-7842-1716-8	
お名前		tel			書店番線印
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				

陽明叢書 記録文書篇 [全12輯・全31冊・別輯1]

近衛通隆監修／陽明文庫編集／熱田公・益田宗編集顧問

撰家筆頭である近衛家伝来の文庫襲蔵の記録及び文書中より、中世の未公刊史料を中心に影印（写真版）で刊行するシリーズ。各輯ごとに書誌および史料的位置、当時の時代背景、さらに近衛家にも触れた解説を付す。

※第1輯 御堂関白記（全5冊）【①②④品切】／揃本体 48,600円（税別） [解説] 土田直鎮

※第2輯 岡屋関白記・深心院関白記・後知足院関白記（全1冊）／本体 14,000円（税別）

[解説] 橋本義彦

第3輯 後法成寺関白記（全3冊）／揃本体 34,600円（税別） [解説] 今枝愛真

第4輯 後深心院関白記（全3冊）／揃本体 36,000円（税別） [解説] 今枝愛真

第5輯 人車記（全4冊）／揃本体 48,000円（税別） [解説] 上横手雅敬

第6輯 平記・大府記・永昌記・愚昧記（全1冊）【品切】／本体 14,000円（税別）

[解説] 山本信吉・新田英治・石田祐一

第7輯 中右記（全4冊）／揃本体 55,000円（税別） [解説] 益田宗

第8輯 後法興院記（全4冊）／揃本体 56,000円（税別） [解説] 益田宗

第9輯 法制史料集（全1冊）／本体 12,000円（税別）【最新刊】 [解説] 杉橋隆夫・佐古愛己

第10輯 名家消息集（全1冊）【未刊】 [解説] 朝尾直弘

第11輯 紙背文書集（全1冊）【未刊】 [解説] 佐藤泰弘

第12輯 所領関係文書集（全1冊）【未刊】 [解説] 田中稔・熱田公

※別輯 宮城図（全1冊）／本体 18,000円（税別） [解説] 村井康彦・瀧浪貞子

※日本法制史論集

牧健二博士米寿記念会編

日本の法制史研究で多大な業績を遺し、藩法編纂など資料編纂において先駆的役割を果たした牧博士の米寿を記して、第一線の研究者24人が上梓した学界最高水準の法制史論集。

【内容】

日本律の成立に関する一考察／律と大嘗祭／六～八世紀の客館／流罪考／日本における動産贈与の慣行／封建制概念の形成／公家新制より見たる鎌倉幕府の成立／本所考／大名留守居制の成立／江戸幕府の赦追考／幕府法の一季居奉公禁制／江戸時代離婚法の再検討／大名の御代替朱印改について／御朱印地考／尾張藩「木曾衆」考／江戸時代初期の「戸籍」関係史料／相給村一考察／伊豆諸島・新島流人の行刑資料の考察／近世的所持の制度から近代的所有権制度へ／幕末、維新时期における紀州・和歌山藩の兵制改革と人民／維新期の藩徒刑史料／明治賭博犯処分制度の構造と機能／明治二十四年・辻村庫太事件の一考察／野村組と五代友厚

▶A5判・850頁／本体 22,000円（税別）

ISBN4-7842-0290-0

天龍寺文書の研究

原田正俊編

京都嵯峨の名刹・天龍寺の古文書は、仏教史・寺院史のみならず多数の朝廷・幕府発給の文書、荘園関係文書を含み、政治史・社会経済史研究に必須の文書群である。第一部には鎌倉時代～慶長5年の中世天龍寺関係文書および関連諸塔頭文書を翻刻・掲載、第二部には研究編として解説・論考を収録する。

▶A5判・716頁／本体 14,000円（税別）

ISBN978-4-7842-1571-3

室町幕府管領施行システムの研究

龜田俊和著

応仁・文明の大乱以前の室町幕府における根幹の制度であり、將軍の主権的支配権を強化・促進し、全国の武士・寺社本所に権益を与えることによって政權基盤の強化に大きな貢献を果たしたと評価できる管領施行システムの沿革と意義を分析・解明する。

▶A5判・544頁／本体 9,800円（税別）

ISBN978-4-7842-1675-8

※日本古代典籍史料の研究

鹿内浩胤著

史書・法制史料・儀式書・部類記など歴史学の土台をなす日本古代史の基本史料を対象に、原撰本へ如何にして接近するか、伝来論的アプローチを中心に「文献学的研究」と「書誌学的研究」の二部構成で研究の方法論を提示する。著者が発見した新史料『小野官年中行事裏書』（田中教忠旧蔵『寛平二年三月記』）全丁の影印・翻刻も収録。

▶A5判・376頁／本体 6,700円（税別）

ISBN978-4-7842-1552-2

近世長崎司法制度の研究

安高啓明著

江戸幕府直轄領には旗本を派遣し、幕府法を遵守しながら歴史的土壌かつ地域性を包含した支配を行なった。本書では、長崎奉行所で構築されていた司法制度のもとでの、長崎奉行の司法的権限に迫った。また法の浸透過程と受容した長崎奉行所の法体系を見出し、判例集「犯科帳」から当時犯罪に関与した人間模様、裁判の実相を明らかにする。

▶A5判・512頁／本体 5,700円（税別）

ISBN978-4-7842-1477-8

近世長崎・対外関係史料

太田勝也編

「長崎御役所留」（国立公文書館内閣文庫所蔵）・「長崎諸事覚書」（同左）・「長崎記」（東北大学附属図書館狩野文庫所蔵）および「長崎旧記」（筑波大学附属図書館所蔵）の4点を収める。「長崎御役所留」は長崎奉行所に受け継がれてきた文書・記録類の編纂物であるが、この現存史料としては唯一の第一級のもの。

▶A5判・728頁／本体 16,000円（税別）

ISBN978-4-7842-1362-7

徳川將軍家領知宛行制の研究

藤井讓治著

近世社会、特に領主社会での徳川將軍家と大名との関係を成立させる領知制。本書はその領知制を基礎のところで成立させている領知朱印状そのものに注目し、徳川將軍家の領知宛行制の形成過程とその特質を明らかにする。各章末に領知朱印状の一覧を付す。

▶A5判・412頁／本体 7,500円（税別）

ISBN978-4-7842-1431-0

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。